1970年
(昭和45年)

11＼15
～11／23

創立50年記念国際サッカー

日本代表対ユールゴルデン
(スウェーデン)

主催／日本蹴球協会

サッカー ミクニ

日本蹴球協会公認球

ミクニビクター号
ワールドカップ号
ミクニ6.5（白黒）

ミクニ練習球

フジ号（ビクター号二級品）
ミクニS.T（白黒）

服装は日本一の生産量を誇る ミクニ

お知らせ下さい。カタログお送りします。

株式会社 ミクニ商会

東京都千代田区外神田3丁目2番2号
TEL (251) 4931（代表）～3

日本蹴球協会公認球
セプター号

シャープな蹴感!!

セプター号製造元

望月運動用品株式会社

本　　社 墨田区横川4－1－4　TEL (622) 0858・0746
サービス部 新宿区柏木1－91　TEL (361) 8452

日本蹴球協会50年記念招待

スウェーデン・チームを迎えて

日本蹴球協会会長
野津　謙

青少年はもとより老壮から幼少児まで，サッカーを愛する人が，日一日とふえつつあることは，まことに喜ばしいことであります。

ただいま日本代表選手は，バンコクにおけるアジア大会を1カ月後に控えて，強化合宿にはいりました。そして，今回，当協会創立50年記念事業の一環をかねて選手の強化をはかるため，スウェーデンからユールゴルデン・チーム（リーグ第3位）を招いて，日本代表チームと4回にわたり，親善試合を行なうことになりました。

スウェーデン・チームは，1950年以来たびたび来日し，わが国サッカーの発展に多大の貢献をしていますが，コールゴルデン・チームは，1953年来日のとき，わが代表チームから，2ケタに近い得点をあげております。

12月のアジア大会にのぞむに際し，幾人かの新鋭を加えた日本代表チームが，このチームとの親善試合によって，メキシコ・オリンピックに示した実力をしのぐにたるチームとなるよう，期待いたしております。

試合日程

11月15日（日）東京・国立競技場

<12：00>　全日本学生選抜 { 二 } 韓国大学選抜

主審　倉持守三郎，線審　森田更一，和田　勝

<14：00>　日本代表 { 二 } ユールゴルデン

主審　永嶋正俊，線審　佐藤　弘，手塚健一郎

11月17日（火）横浜・三ッ沢球技場

<14：30>　関東学生選抜 { 二 } 韓国大学選抜

主審　永嶋正俊，線審　高田宗昌，鈴木　中

11月19日（木）京都・西京極競技場

<12：00>　関西学生選抜 { 二 } 韓国大学選抜

主審　池田太郎，線審　黒松喜英，西　旬一

<14：00>　日本代表 { 二 } ユールゴルデン

主審　木村　直，線審　高山哲郎，瀬戸　進

11月21日（土）東京・国立競技場

<14：00>　日本代表 { 二 } ユールゴルデン

主審　安田一男，線審　住　慎一，長坂幸夫

11月23日（祭）東京・国立競技場

<14：00>　日本代表 { 二 } ユールゴルデン

主審　丸山義行，線審　永嶋正俊，浅見俊雄

＜表紙＞　日本―スウェーデン・ヨテボリ（45年3月8日，国立競技場）　　写真提供　フォト・キシモト

スウェーデン・ユールゴルデンのメン

ボードマン

ルンドクビスト

グスタフソン

ブラットレフ

ア ス プ

〔役員〕

クラブ会長	ボードマン	Carl-Hjalmar Bodman
理事長	ルンドクビスト	Gunnar Lundqvist
経理担当理事	グスタフソン	Reine Gustafsson
医師	エーデルホルム	Dr. Jäderholm
	レフクビスト	Löfqvist
	トレッソン	Trösson
	リンドグレン	Lindgren
監督	ブラットレフ	Bo Brattlöf
マッサージ師	アスプ	Rolf Asp

〔選手〕

ポジション	氏名		年齢	
GK	ラルソン	Sven Gunnar Larsson	(31)	ワールド・カップ代表 エーラブルーSKより補強<会社員>
〃	マットソン	Torgny Mattsson	(22)	<運送業>
FB	ベルグレン	Tommy Berggren	(20)	ジュニア代表<工員>
〃	カールソン	Inge Karlsson	(24)	ジュニア代表<大学生>
〃	グンメソン	Willy Gummesson	(26)	A代表選手，主将<会社員>
〃	ニルソン	Hans Nilsson	(29)	B代表，副主将<技師>
〃	B・ヨンソン	Björn Jonsson	(26)	<大学生>
HB	グランクビスト	Conny Granqvist	(23)	ジュニア代表<大学生>
〃	ショベリー	Jan-Erik Sjöberg	(24)	A代表<青少年スポーツ指導員>
〃	スベンソン	Jan Svensson	(26)	<青少年スポーツ指導員>
FW	ブルツコーピル	Dan Brzokoupil	(23)	A代表<大学生>
〃	エリクソン	Leif Eriksson	(29)	ワールド・カップ代表 エーラブルーSKから補強<大学生>
〃	H・ヨンソン	Hans Jonsson	(20)	<学生>
〃	クロンクビスト	Clas Cronqvist	(26)	ワールド・カップ代表 FB，HBも出来る<銀行員>
〃	リンドマン	Sven Lindman	(28)	A代表<体育大学生>
〃	ニーベリー	Kjell Nyberg	(19)	ジュニア代表<会社員>
〃	オケルストレーム	Stig Åkerström	(27)	<会社員>

ベルグレン

ニルソン

ショベリー

エリクソン

バー MEMBER LIST OF DJUGÅRDENS IF

ラルソン

マットソン

カールソン

グンメソン

B・ヨンソン

グランクビスト

スベンソン

ブルツコーピル

H・ヨンソン

クロンクビスト

リンドマン

ニーベリー

オケルストレーム

ユールゴルデン選手のサイン

岡野俊一郎

八重樫茂生

横山謙三

船本幸路

瀬田竜彦

小城得達

森孝慈

原正文

山口芳忠

菊川凱夫

川上信夫

荒井公三

富沢清司

日本代表メンバー

MEMBER LIST OF All JAPAN SELECITON

監督 岡野俊一郎 (39) 日本蹴球協会技術委員

コーチ 八重樫茂生 (37) 日本蹴球協会技術委員

GK	横山謙三	(27)	三菱重工	船本幸路	(28) 東洋工業
	瀬田竜彦	(18)	日立本社		
FB	小城得達	(27)	東洋工業	森孝慈	(26) 三菱重工
	原正文	(26)	新日鉄	山口芳忠	(25) 日立本社
	菊川凱夫	(25)	三菱重工	川上信夫	(23) 立大
	荒井公三	(20)	古河電工	富沢清司	(26) 新日鉄
	藤島信雄	(20)	日本鋼管	大谷栄一	(19) 慶大
HB	宮本輝紀	(29)	新日鉄	吉水法生	(24) 古河電工
	小畑穣	(23)	日立本社	吉村ネルソン	(23) ヤンマー
	二村昭雄	(27)	東洋工業	落合弘	(24) 三菱重工
	平沢周策	(21)	日立本社	湯口栄蔵	(25) ヤンマー
FW	杉山隆一	(29)	三菱重工	釜本邦茂	(26) ヤンマー
	近江友介	(23)	日社本社	木村武夫	(23) 古河電工
	上田忠彦	(23)	新日鉄	高田一美	(18) 日大
	日高憲敬	(22)	立大		

藤島信雄

大谷栄一

宮本輝紀

吉水法生

小畑穣

吉村ネルソン

二村昭雄

落合弘

平沢周策

湯口栄蔵

杉山隆一

釜本邦茂

近江友介

木村武夫

上田忠彦

高田一美

日高憲敬

日本サッカー、半世紀の概観

▶協会創立50年記念事業　日本蹴球協会は1921年(大正10年) 9月10日に創立された。明年1971年で満50年になるので，ことしの9月から50周年記念年間に入り，記念の諸行事が行なわれる。8月から9月にかけてのポルトガル・ベンフィカ招待がその第1着手，今回のスウェーデン・ユールゴルデン招待が第2着手である。あと明春の朝日国際サッカー，引続き第13回アジア・ユース東京大会など記念競技が日程にのぼっている。

▶日本へのサッカー伝来　1873年（明治6年），東京・木挽町の海軍兵学寮（のち海軍兵学校）教師に来日した英海軍副艦長ダグラス少佐が，築地で部下とフットボールを行なった。翌明治7年，赤坂の工学寮（のち東大工学部）教師として来任した英人ライメル・ジョンズが紹介導入したのがはじめといわれる。

▶サッカー普及の系譜　すでに1888年（明治21年）から横浜・神戸外人クラブの定期戦が始まり，東京高師（現・東京教育大）が1904年（明治37年）2月，横浜外人と初めて試合をするまでになった。日本のサッカーは東京高師にはじまり，卒業生が師範学校や中学校へ広めて底辺を拡大していった。

▶日本蹴球協会創立のきっかけ　1918年（大正7年）1月から2月にかけ，東京で「関東蹴球大会」，関西で「日本フートボール大会」，名古屋でも中等学校大会が開かれ，東京の大会には6人の宮様に，英国大使グリーン氏が来場した。これが英本国にどう伝わったのか，翌大正8年3月，英大使を通じてイングランドの協会（FA）から銀杯が贈られ「全日本蹴球協会の成立に祝意を表し銀杯を贈る」と書きそえてあった。ところが実際には“日本蹴球協会”なるものはまだ存在しない。とりあえず日本体協嘉納治五郎会長が受領し，会長の指示で東京高師内野台嶺先生（初代理事）らが奔走して1921年（大正10年）9月10日，大日本蹴球協会が創立された。

▶公式国際試合の初優勝　1927年（昭和2年），上海の第8回極東選手権大会で，日本代表は初めてフィリピンを破った。昭和5年（1930年）明治神宮競技場の第9回極東大会でもフィリピンに勝ち，中国と引きけ分て，中国と同位優勝をとげた。

▶FIFAに加盟　1929年（昭和4年）5月17日，日本はＦＩＦＡ（国際蹴球連盟）に加盟。

▶オリンピック初参加　1936年（昭和11年）第11回ベルリン・オリンピックに初参加した日本は，1回戦で優勝候補スウェーデンに3―2で逆転勝ちして“ベルリン大会の奇跡”を演じたが，2回戦でイタリア（優勝国）に8―0で敗れた。

▶戦争による空白時代　戦争中の金銀供出で協会創設のきっかけとなったＦＡ杯も姿を消した。敗戦のなかから立ちあがった協会は，1946年（昭和21年）2月には西宮で東西対抗と学生対抗，5月には東大御殿下で第26回全日本選手権を開いたが深刻な世情のため昭和22，23年の全日本選手権は中止された。

▶天皇杯下賜　1947年（昭和22年）4月3日，神宮競技場で行なわれた東西対抗に，天皇陛下が皇太子さまご同道で観戦され，試合後グラウンドへ出られて選手を激励された。このことから翌年7月に天皇杯を下賜され，昭和26年度から全日本選手権大会（第31回）に授与されるようになった。

▶FIFAに復帰　戦争で資格停止となっていた日本は，1950年（昭和25年）9月23日，国際蹴球連盟に復帰。

▶東京オリンピック　1964年東京大会で日本は強豪アルゼンチンを破り，世界アマチュア・ベスト8に名を連ね，この大会を機に，いわゆるサッカーブームのきざしがみえた。

▶日本サッカー・リーグ創立　クラーマー・コーチの提言によって1965年（昭和40年），日本サッカー・リーグがつくられた。

▶メキシコ五輪で銅メダル　この予選は韓国と死闘するけわしい道であったが，メキシコでは予想を上回って準決勝に進出。ハンガリー（優勝国）に敗れたものの，3位決定に地元メキシコに快勝して3位入賞。それればかりかＦＩＦＡフェアプレー・トロフィーも受賞，さらにユネスコの68年度クーベルタン・フェアプレー・トロフィーも受賞した。

▶ミュンヘンめざす　こうしてわれわれはいま，72年ミュンヘン・オリンピックへの道を踏み出している。

ユールゴルデンの横顔

■スポーツ・クラブ

“ユールゴルデン”は，スウェーデンで，もっとも大きいスポーツ・クラブである。創立は1891年３月12日。“ユールゴルデン”とは英語でいえば，“アニマル・ガーデン”という意味で，もともとは狩猟のクラブからはじまったので，この名がある。現在は16種目のスポーツをこのクラブでやっている。1953年に日本に来たとき，サッカーのほかにアイスホッケーの試合を全日本を相手に行なって大勝，日本のファンが「サッカーの選手に本職の日本が負けるとは―」といわれたが，実はアイスホッケーもユールゴルデンの看板スポーツ。来日したうちヨハンソン選手は，サッカーのエースであると同時に，アイスホッケーでは世界的な名選手だった。

■サッカー・チーム

ストックホルムには，ユールゴルデンのほかに，全国リーグに入っているサッカー・チームとして来日したことのあるアイコーとハマルビーの両チームがある。３チームの中でユールゴルデンは，もっとも名門のチームであり，常にリーグの上位を占めている。スウェーデンのリーグは，各チームの実力が接近していて，なかなかの激戦，３月に来日した昨年の優勝チームのヨテボリが今年は不振つづきで２部落ちが決まったほどだが，ユールゴルデンは，上位チーム相手には無敗，下位チーム相手に取りこぼして３位だった。

最近では1955年，59年，64年，68年に優勝している。通算優勝回数は８回。

スウェーデンは人口800万の国だから，プロ・チームは成り立っていないが，実質的にはセミ・プロに近いといわれている。来日チームはアマチュアだが，選手の中にはかって外国でプロとしてプレーした選手もいるから，全員がオリンピック出場の資格を持っているアマチュアとはいえない。

スウェーデンは，第２次世界大戦の戦渦にまきこまれなかったので，戦後の1945～50年には，すぐれたプレーヤーを生み，1948年のロンドン・オリンピックに優勝して黄金時代を迎えた。現在でも，イギリス，西ドイツ，スペイン，ポルトガル，イタリアなどの各国がみなプロを持っていることを考えると，アマチュアとしてはヨーロッパのトップ・クラスであるということができよう。

■来日する顔ぶれ

今回来日の選手17人の中には，“エーラブル・クラブ”からの補強選手２人がふくまれている。この２人はともに６月のワールドカップに出場した名選手。エリクソンはヨーロッパで有名なＦＷだし，ＧＫのラルソンの守備も定評がある。ユールゴルデンからワールドカップ代表に選ばれたクロンクビストは，対ウルグアイ戦では右のフル・バックをやったが，自分のチームではＦＷをやる万能選手。左のウイングのブルツコーピルは，21歳の新進，すばやい動きとシュートで，このチームの最多得点者になった。ストライカーのリンドマンは，もとオーストリアのラピド・ウイーンで活躍したベテランである。

来日したスウェーデン・チーム

戦前の1936年（昭和11年）８月４日，第11回ベルリン・オリンピック大会に初参加した日本が，ベルリン市ゲズントブルンネンのヘルタープラッツ競技場でおこなわれた１回戦で，優勝候補スウェーデンと対戦。前半０―２から，後半３―２に逆転勝ちしたのは有名な話だが，スウェーデン・チームの来日は，戦後1951年（昭和26年）11月のヘルシング・ボリューが最初である。またこれが日本国内における戦後初の国際試合だった。

Ⅰ ヘルシング・ボリュー　1951年（昭和26年）

▶第１戦　11月23日　京都・西京極競技場
ヘルシングボリュー５（４―１）（１―０）０全関西

▶第２戦　11月25日　兵庫・西宮球技場
ヘルシングボリュー３（１―０）（２―０）０全日本

▶第３戦　11月27日　八幡・大谷球場
ヘルシングボリュー13（４―０）（９―０）０全九州

▶第４戦　11月28日　広島・国泰寺高校
ヘルシングボリュー３（２―０）（１―０）０全広島

▶第５戦　12月１日　大宮・県営競技場
ヘルシングボリュー７（２―０）（５―０）全慶応

▶第６戦　12月２日　東京・明治神宮競技場
ヘルシングボリュー５（３―０）（２―０）０全日本

Ⅱ ユールゴルデン　1953年（昭和28年）

この年，全日本学生選抜が西独ドルトムントの第３回国際学生競技大会（ユニバシアード）に出場，あとストックホルムで，ユールゴルデンとアイコー両クラブ連合チームと試合（８月18日，０―９敗）をした。同じ年の秋，ユールゴルデンが単独で来日した。

▶第１戦　11月22日　大阪・難波球場
ユールゴルデン５（１―０）（４―１）１全日本

▶第２戦　11月25日夜間　東京・後楽園特設球場
ユールゴルデン１（１―０）（０―０）０全関東

▶第３戦　11月29日　東京・明治神宮競技場
ユールゴルデン９（３―１）（６―０）１全日本

Ⅲ スウェーデン選抜　1962年（昭和37年）

12月５日から16日にかけて，ソ連ディナモ・モスクワと，スウェーデン選抜チームを招き，日本代表と三国対抗サッカー大会を開いた（ほかに親善試合）。

▶三国対抗第１戦　12月９日　東京・後楽園競輪場
スウェーデン５（４―１）（１―０）１全日本

▶三国対抗第２戦　12月11日　東京・後楽園競輪場
ディナモ３（１―１）（２―１）２全日本

▶三国対抗第３戦　12月16日　東京・後楽園競輪場
ディナモ０（０―０）（０―０）０スウェーデン

〔順位〕(1)ディナモ，スウェーデン選抜（ともに１勝１引分け）(3)日本（２敗）

Ⅳ アイコー・ストックホルム　1956年（昭和40年）

11月28日から12月11日まで，ソ連トルペド・モスクワと，スウェーデンのアイコー・ストックホルムを招いて第２回三国対抗，朝日国際サッカー大会が開かれた。

▶三国対抗第１戦　12月４日　東京・駒沢競技場
トルペド３（２―０）（１―０）０アイコー

▶三国対抗第２戦　12月５日　東京・駒沢競技場
アイコー１（１―０）（０―０）０日本代表

▶三国対抗第３戦　12月11日　大阪・長居競技場
トルペド３（３―０）（０―１）１日本代表

〔順位〕(1)トルペド（２勝）(2)アイコー（１勝１敗）(3)日本（２敗）

▶親善試合　12月２日　横浜・三ッ沢サッカー場
日本リーグ選抜２（１―２）（１―０）２アイコー

▶親善試合　12月７日　京都・西京極競技場
日本選抜０（０―０）（０―０）０アイコー

Ⅴ ヨテボリ・クラブ　1970年（昭和45年）

３月８日から21日まで，スウェーデンのヨテボリと，ブラジルのフラメンゴを招き，日本代表Ａ，Ｂと４チームによる三国対抗・朝日国際サッカー大会が開かれた。

▶第１日　３月８日　東京・国立競技場
日本Ｂ３（３―２）（０―１）３フラメンゴ
日本Ａ１（１―１）（０―０）１ヨテボリ

▶第２日　３月15日　東京・国立競技場
日本Ａ４（０―１）（４―０）１日本Ｂ
ヨテボリ６（３―０）（３―０）０フラメンゴ

▶第３日　３月21日　神戸・御崎サッカー場
ヨテボリ７（３―０）（４―０）０日本Ｂ
日　本Ａ１（１―０）（０―１）１フラメンゴ

〔順位〕(1)ヨテボリ（２勝１分）(2)日本代表Ａ（１勝２分）(3)フラメンゴ（２分１敗）(4)日本代表Ｂ（１分２敗）

▶親善試合　３月11日　東京・国立競技場
東洋工業１（１―０）（０―１）１ヨテボリ

▶親善試合　３月19日　大阪・長居競技場
西日本選抜３（１―１）（２―１）２ヨテボリ

1970 メキシコ・ワールドカップ

メキシコの1970ワールドカップの１次リーグでスウェーデンはウルグァイを破りながら，得失点差１で決勝トーナメント進出を逃した。２組①イタリア１勝２分②ウルグアイ１勝１分１敗（得２失１）③スウェーデン１勝１分１敗（得２失２）④イスラエル２分１敗。

月　日 (　) 試合開始　午後　時	＿＿＿＿	{ ＿ ＿ }	＿＿＿＿	競技場 天候

≪主審≫……

≪線審≫……　……

得点	シュート	選手氏名	背番号		選手氏名	シュート	得点
		合		計			

計	後半	前半		前半	後半	計
			GK			
			CK			
			FK			
( )	( )	( )	PK	( )	( )	( )

日本蹴球協会公認球

抜群の
耐久力！
弾力！

ピーコックサッカーボール

前田運動具製作所
東京都江東区大島町4—13—18
TEL (681) 9197・9198番

WALES サッカーボール

タチカラ7サッカーシューズ

TACHIKARA

タチカラはボールをつくって60年になろうとして居ります。日本サッカーの歴史と共に歩んだ公認球ウエルス　キビシイ条件にも型くづれしないサッカーボール…シムレスSS新しくイントラストしたサッカーシューズタチカラ7はマシューズ卿の理想を生かされたサッカーシューズとして愛好者がどんどんふえて居ります。

タチカラ株式会社

ヤスダのサッカーシューズで栄冠をかちとろう！

日本代表選手にご愛用いただいています

4：2：4

FX3

はやぶさ

カテナチオ

日本蹴球協会公認球

YASUDA
SPORTS SHOES

ヤスダスポーツシューズ製造元
日本蹴球協会公認球イレブンスターズ製造元

株式会社　安田

東京都文京区小石川4－22－1(〒112)
TEL (813) 5761(代表)　(811) 2548番

サッカー用品カタログ進呈 〒50同封